

# 十勝川中流部川づくりWS(第10回)資料

(各箇所 of 川づくり案と検討の経緯)

平成24年3月2日  
北海道開発局 帯広開発建設部

## -音更川合流点上流-



A - A断面



## 検討の経緯

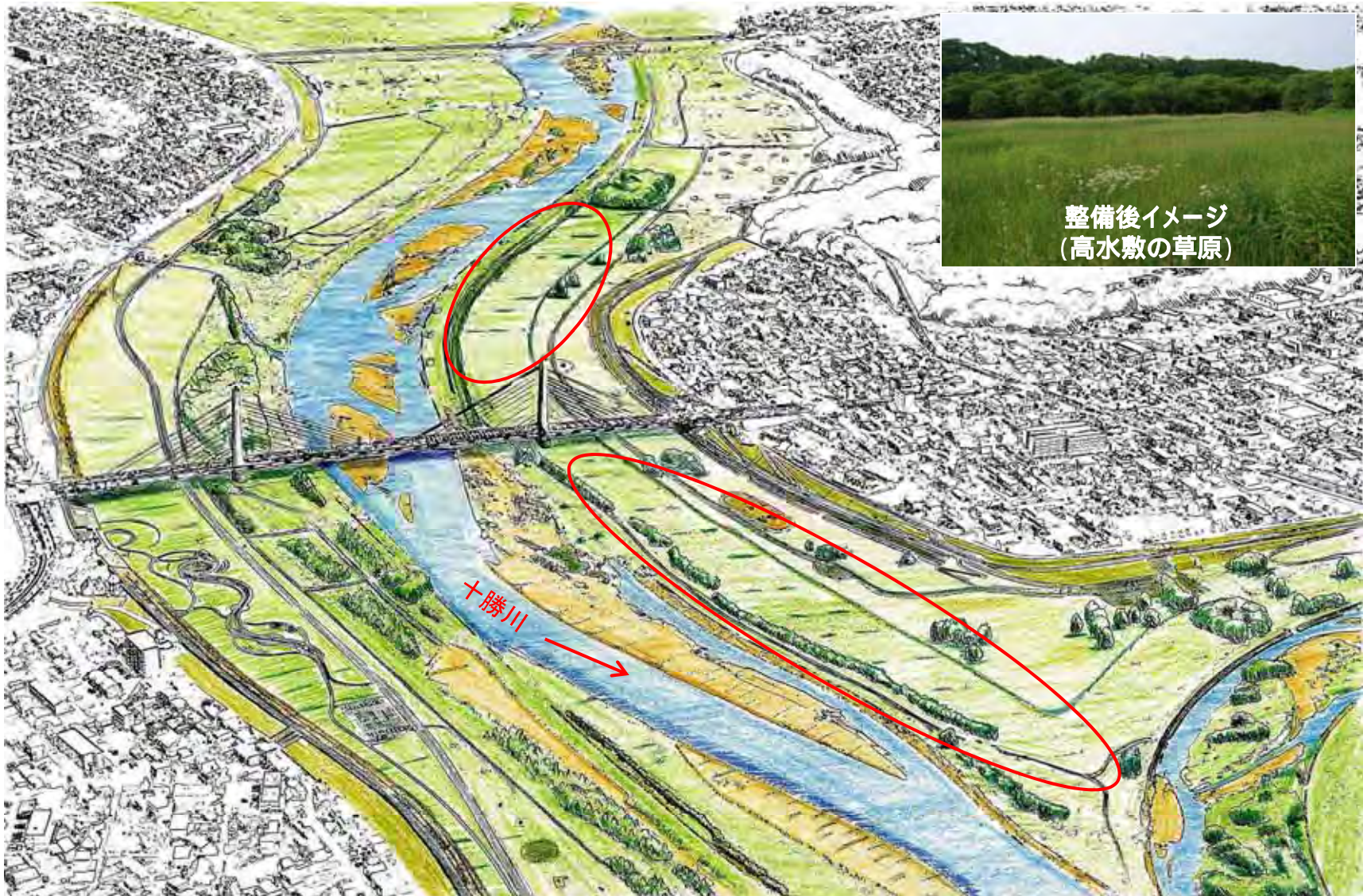
WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<p>&lt;事務局案提示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸側の樹木を伐採(ただし、連続性確保のため幅10m程度の樹木を保全)</li> <li>・掘削は行わず、中洲、河原は現状維持</li> </ul> <p>&lt;グループ討議意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疎林化や樹林保全の方法を検討</li> </ul>
第6回 (H23.3.4)	<p>&lt;事務局代替案提示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疎林化、樹木保全の代替案を提示した上で、左岸側の樹木を伐採し、草原環境とする(ただし、連続性を確保のため幅10m程度の樹林を保全)案を再提示</li> </ul> <p>&lt;全体討議意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地を確認したい</li> </ul>
第7回 (H23.7.9)	現地視察後、意見収集
第8回 (H23.10.23)	<事務局案(第6回提示案)> →合意

## 合意事項

- ・左岸側の樹林を伐採し草原環境へ
- ・連続性確保のため河岸の樹木幅10m程度を保全
- ・中洲や河道内の河原は現状を維持し、掘削は行わない



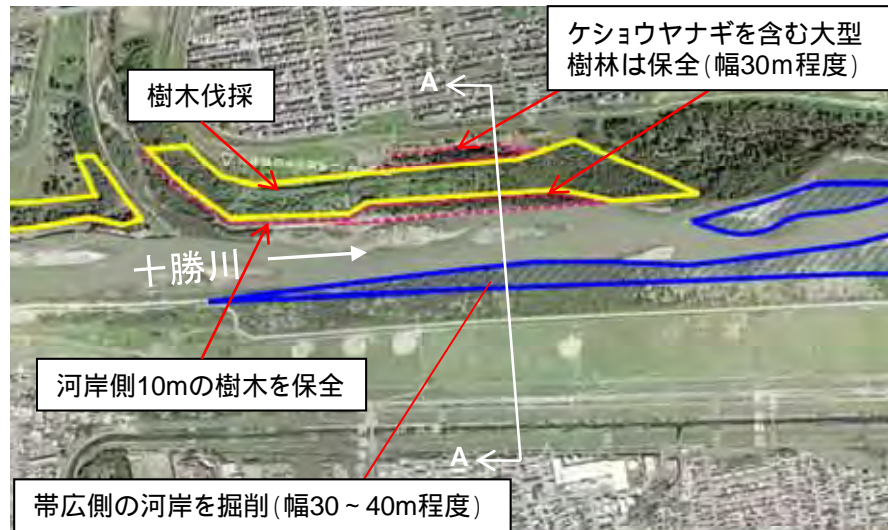
- 音更川合流点上流イメージ図：左岸側の川側10m程度を残して伐採 -



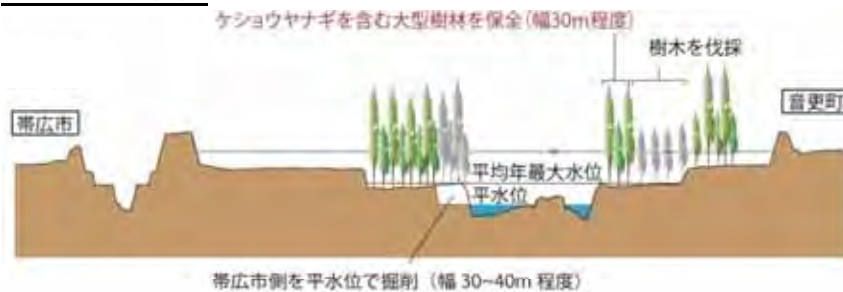


# -音更川合流点下流 -

## 検討の経緯



### A - A断面



WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<p>&lt; 事務局案提示 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸の樹林を保全、右岸側の河岸を平水位で掘削</li> </ul> <p>&lt; グループ討議意見 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸の樹林を伐採し、右岸の掘削幅を減少</li> <li>・左岸堤防側の樹林の疎林化</li> </ul>
第6回 (H23.3.4)	<p>&lt; 事務局代替案提示 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸の樹木を伐採、又は疎林化した場合の、右岸側の掘削幅を提示</li> </ul> <p>&lt; 全体討議意見 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木伐採について継続検討</li> </ul>
第7回 (H23.7.9)	現地視察後、意見収集
第8回 (H23.10.23)	<p>&lt; 事務局修正案提示 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸の樹木を伐採(河岸側の幅10m程度の樹林及びケショウヤナギを含む大型樹林は保全)し、右岸の河岸を平水位で掘削</li> </ul>
第9回 (H23.12.16)	< 事務局案(第8回提示案) > →合意

## 合意事項

- ・左岸側(音更側)の樹林を伐採し、草原環境へ(河岸側10m程度の樹木及びケショウヤナギ林を含む大型樹林は保全)
- ・右岸側(帯広側)の河岸を平水位で掘削(幅30~40m程度)



- 音更川合流点下流 イメージ図

左岸側の樹木を、川側10m程度及びケショウヤナギ等大型樹林を保全して、伐採 -



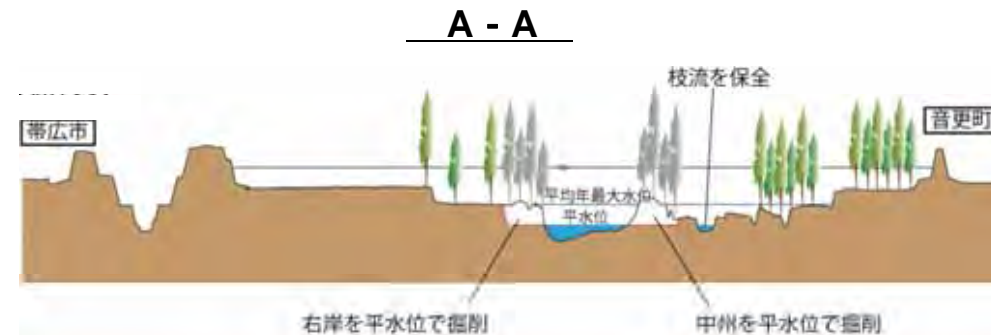


# -音更川合流点下流 -

## 検討の経緯



WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<事務局案提示> ・中洲の左岸側半分程度を残して平水位で掘削 ・枝流は保全 <グループ討議意見> ・特に意見なし
第6回 (H23.3.4)	<事務局案(第5回提示案)> → <b>合意</b>



## 合意事項

- ・中洲を、左岸側半分程度を残して平水位で掘削。枝流は保全する。
- ・併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。

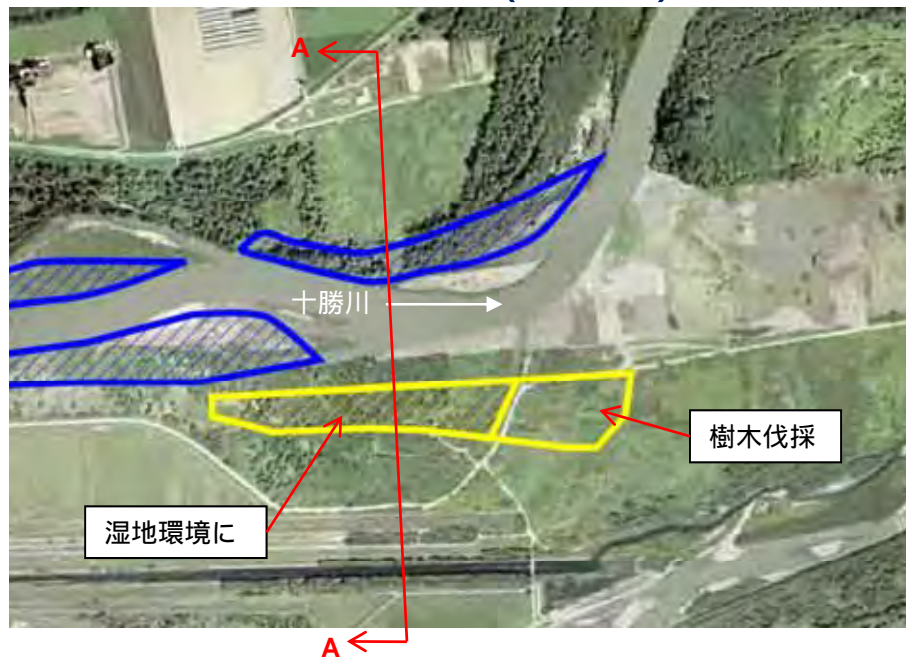
- 音更川合流点下流 イメージ図

中洲の川側を平水位で掘削することにより、礫河原の形成・枝流の保全 -

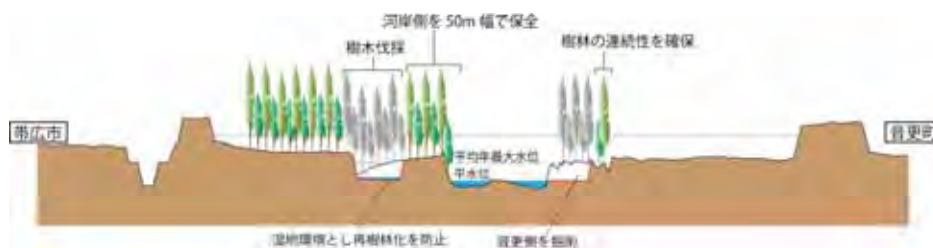




## -相生中島上流(右岸)-



A - A断面



## 検討の経緯

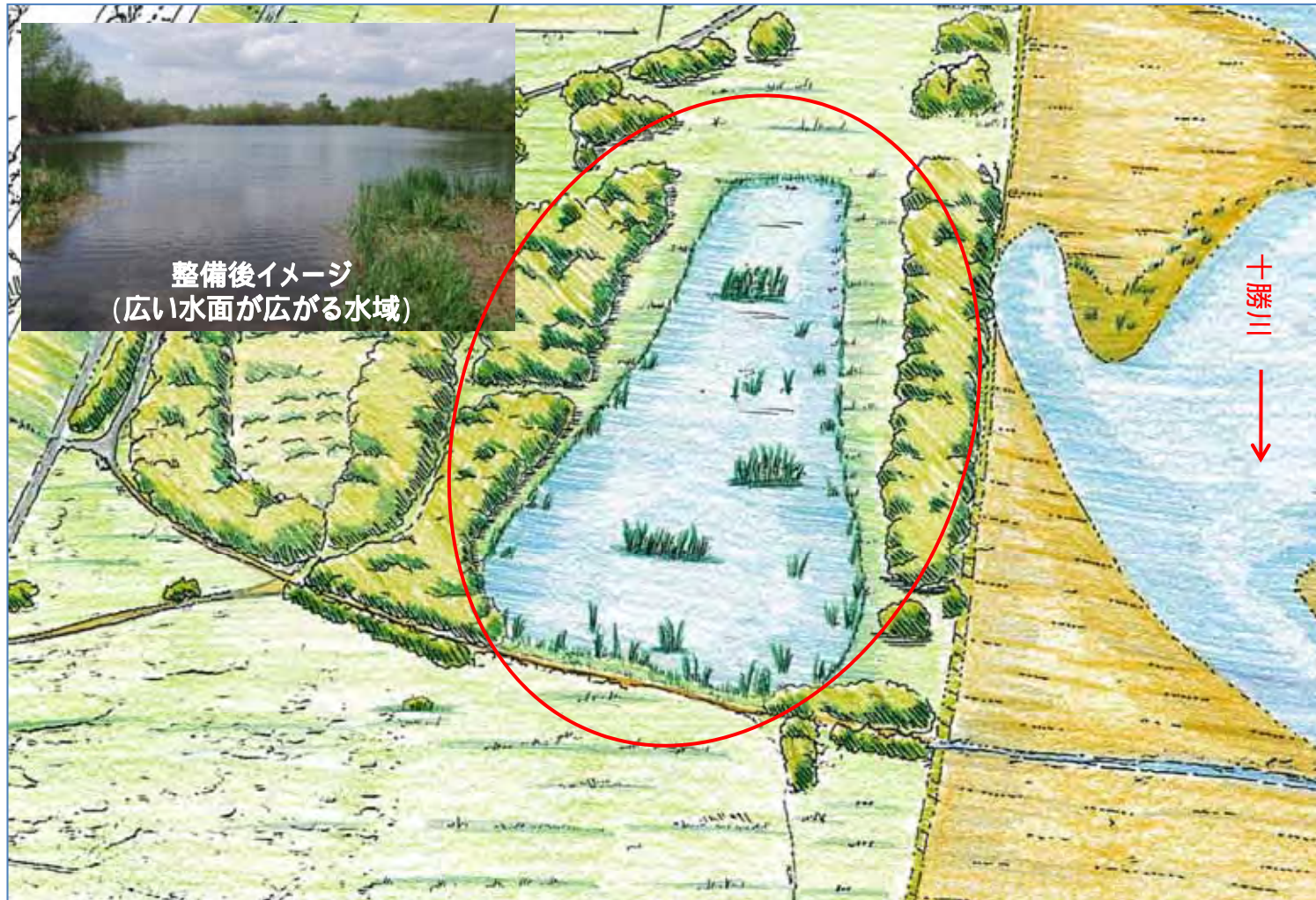
WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<p>&lt;事務局案提示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右岸側の樹木を幅50mで保全し、その背後地の樹木を伐採</li> <li>・再樹林化を防止するため、湿地環境を形成</li> <li>・試行地で試掘することを提案</li> </ul> <p>&lt;グループ討議意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右岸の樹林保全幅を減少し、左岸掘削幅を減少</li> </ul>
第6回 (H23.3.4)	<p>&lt;事務局代替案提示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右岸の樹林保全幅を10mとした場合の左岸掘削幅を提示</li> </ul> <p>&lt;全体討議意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回提示の案を基本に現地を確認する</li> </ul>
第7回 (H23.7.9)	現地視察、意見収集
第8回 (H23.10.23)	<p>試行地を現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水後も水域が残っていることを確認</li> </ul>
第9回 (H23.12.16)	<事務局案(第5回提示案)> → <b>合意</b>

## 合意事項

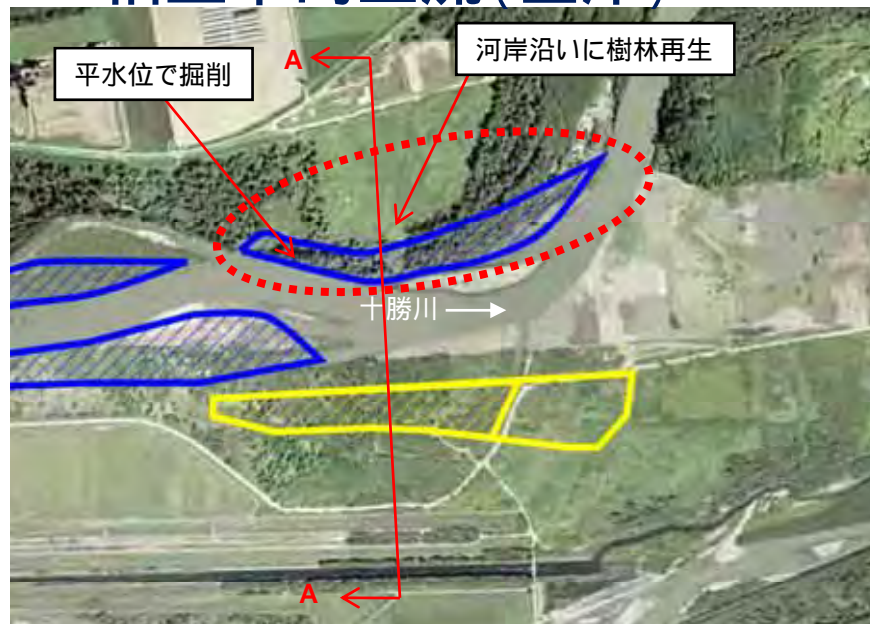
- ・右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- ・再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。



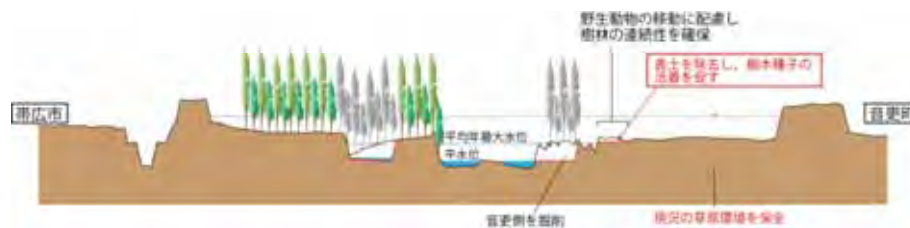
- 相生中島上流(右岸)イメージ図  
川側の樹林幅約50mを残し、その背後地の樹木を伐採して湿地環境を形成



## -相生中島上流(左岸)-



A - A断面



## 検討の経緯

WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<事務局案提示> ・左岸は樹木の連続性に配慮しつつ、平水位で掘削 <グループ討議意見> ・右岸とのトレードオフで掘削幅の減少を検討
第6回 (H23.3.4)	<事務局代替案提示> ・右岸と同様 <全体討議意見> ・第5回提示の案を基本に現地を確認する
第7回 (H23.7.9)	現地視察後、意見収集 ・樹林の分断される箇所、樹林再生を検討
第8回 (H23.10.23)	<事務局案再提示> →合意 ・第5回提示案を基本に、樹林の分断される箇所、樹林再生の試行的な取り組みを提案

## 合意事項

- ・左岸側(音更側)の河岸を、樹木の連続性に配慮しつつ平水位で掘削。
- ・樹林の分断される箇所では、連続性を確保するため樹林再生の試行的な取り組みを実施する。



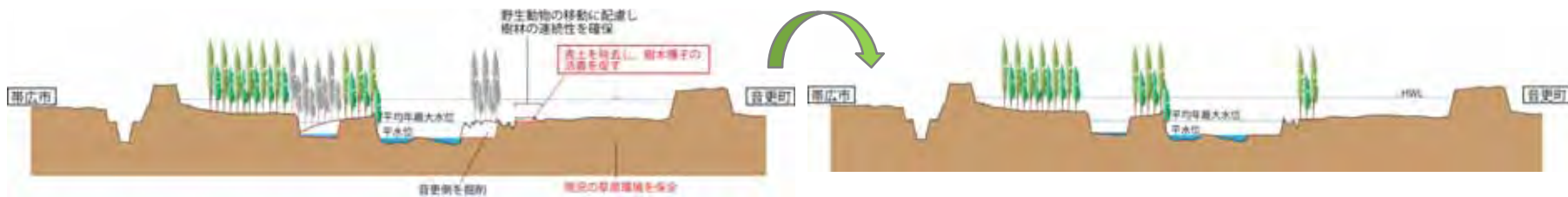
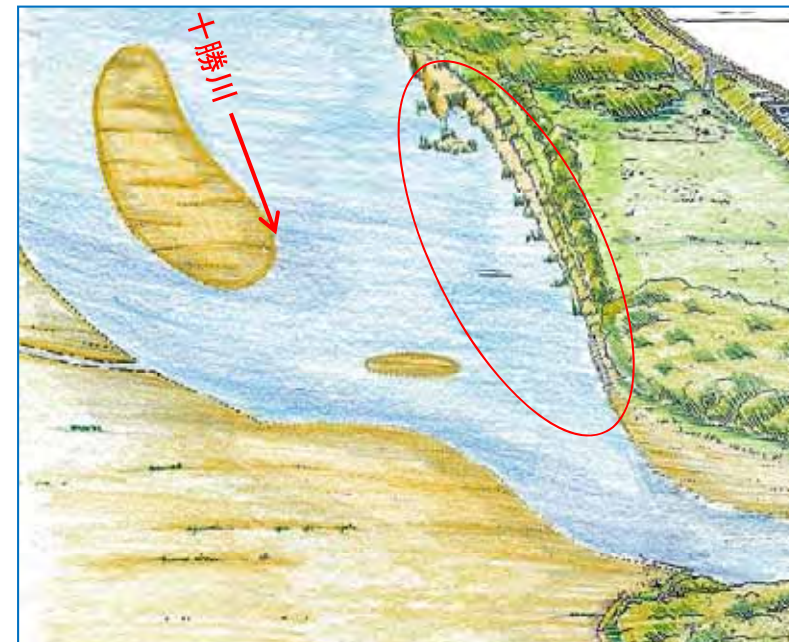
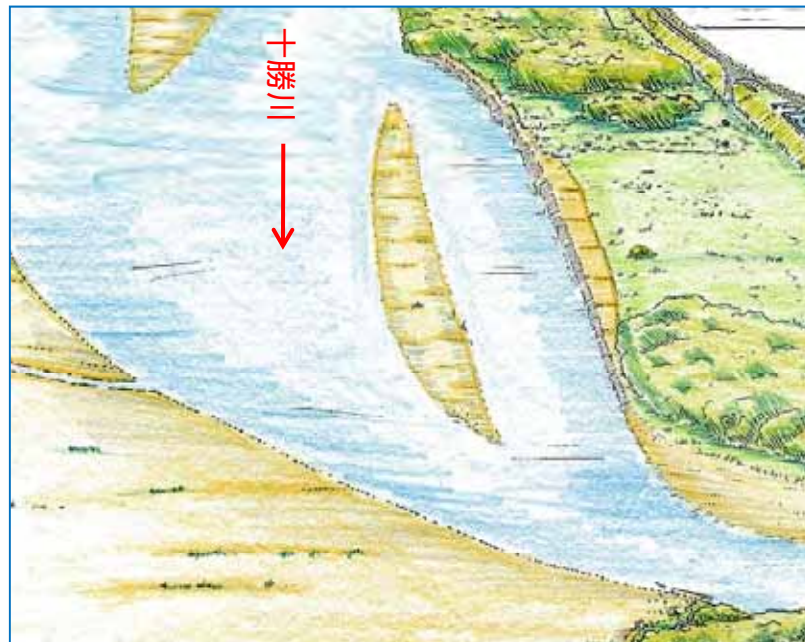
- 相生中島上流(左岸)イメージ図  
 樹林の連続性確保のため、河岸沿いに樹林再生の  
 試行的な取り組みを推進 -

【試行的な取り組みの概要】

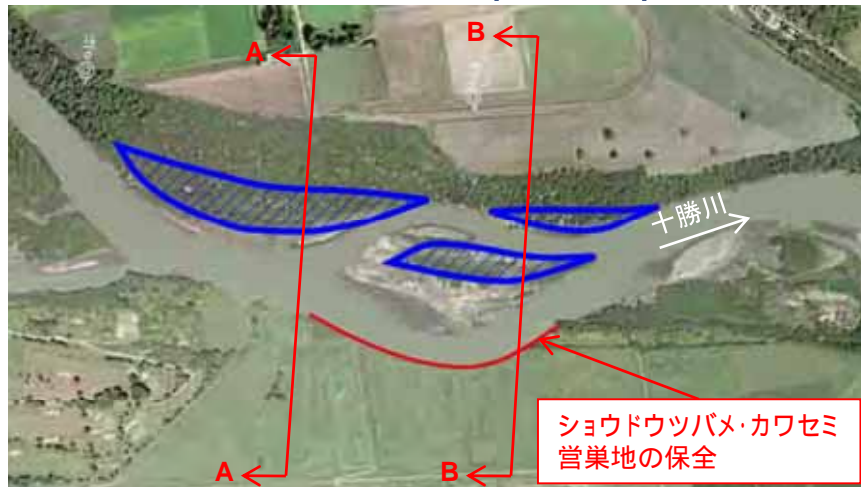
1. 施工幅は、10m程度
2. 表面処理方法と定着樹木種の関係(2工法で施工)  
 すき取りのみの場合、 すき取り+礫質土散布の場合
3. 可能であれば、掘削(表土除去)時期と定着する樹木種  
 の関係を確認



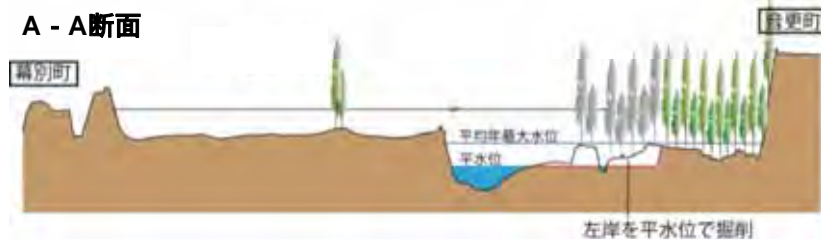
施工後約10年後



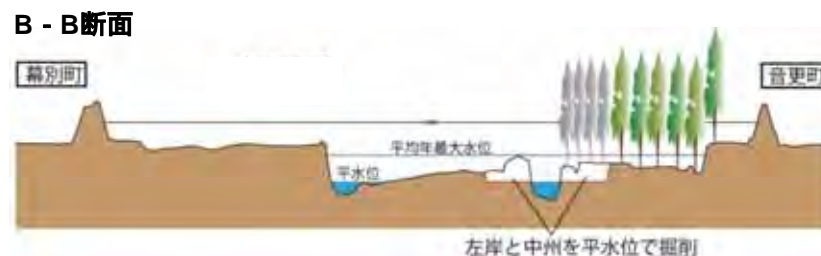
## -相生中島下流(左岸)-



A - A断面



B - B断面



### 検討の経緯

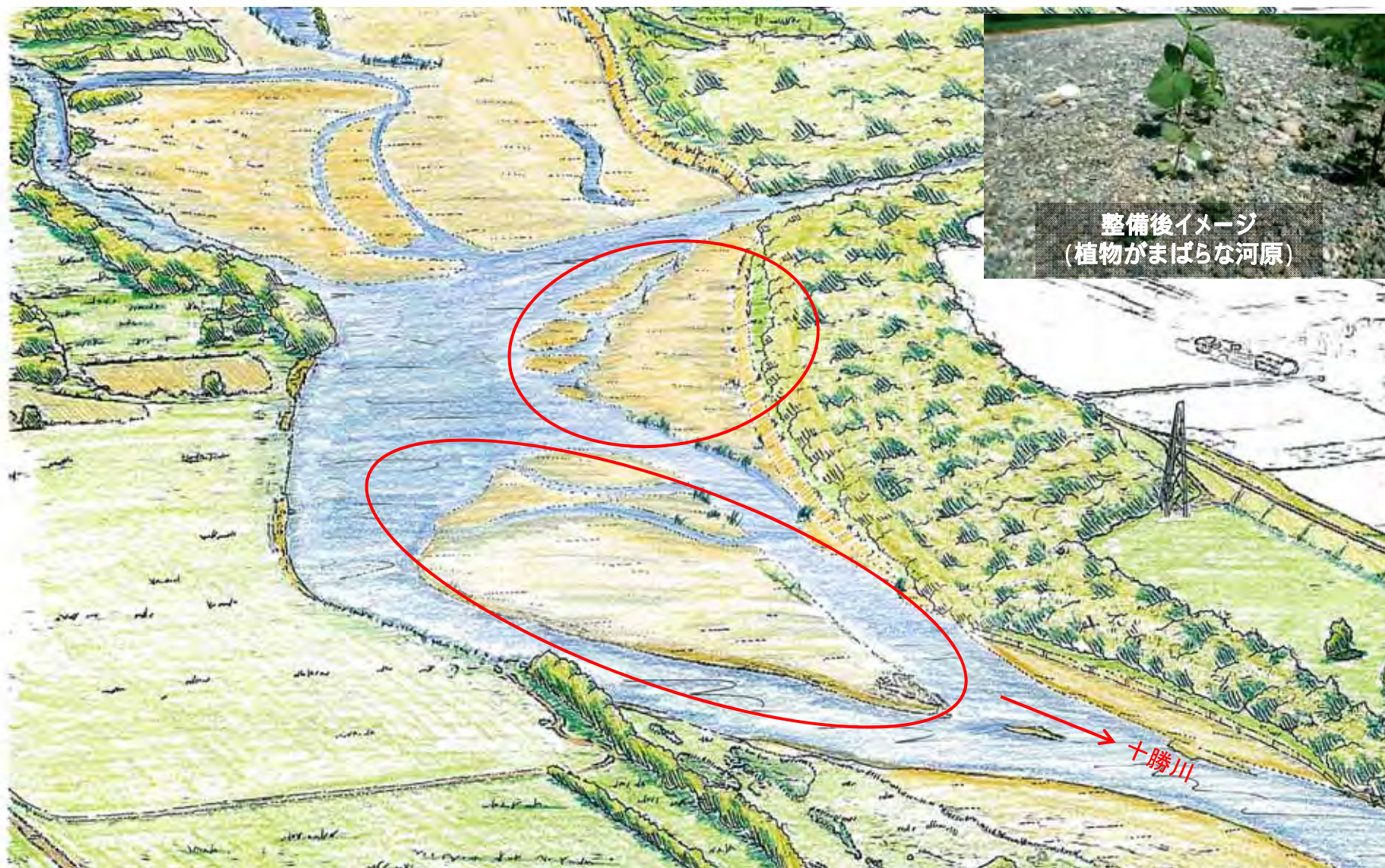
WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<p>&lt;事務局案提示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸側の河岸及び中洲の樹林化した箇所を平水位で掘削</li> <li>・右岸ショウドウツバメ営巣箇所は保全</li> <li>・試行地を提案し、一部を掘削して、その後の河床等の変化や植生の侵入状況等をモニタリングする</li> </ul>
第6回 (H23.3.4)	<p>&lt;事務局案(第5回提示案)&gt; → <b>合意</b></p>
第8回 (H23.10.23)	<p>試行地を現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水により河床形状等が変化していることを確認</li> <li>・現地視察により、継続して施工することに合意</li> </ul>

### 合意事項

- ・中洲については、樹林化している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削し、河原環境の形成により再樹林化を防止する。
- ・右岸側にショウドウツバメの集団営巣地があるため、左岸側を平水位で掘削する。

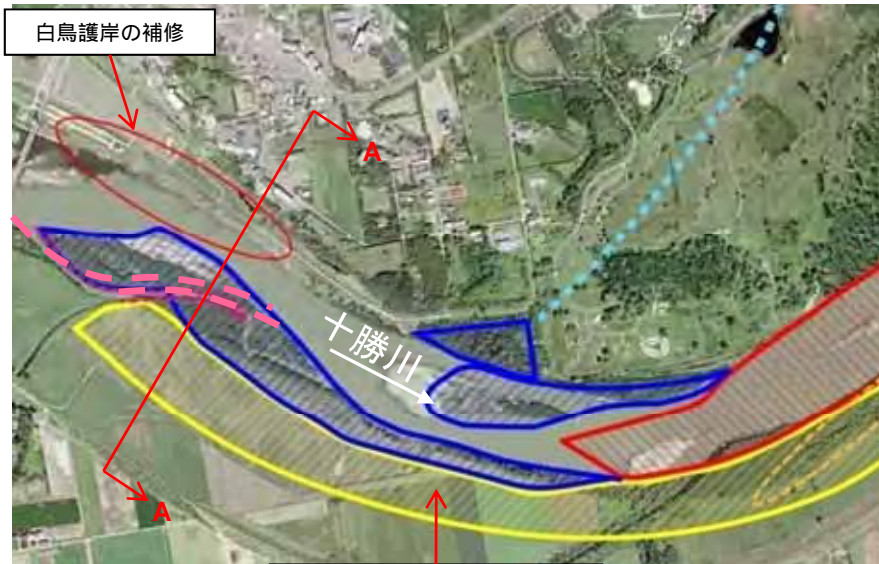


- 相生中島下流(左岸)イメージ図  
左岸側及び中洲の一部を平水位で掘削し、再樹林化を防止 -



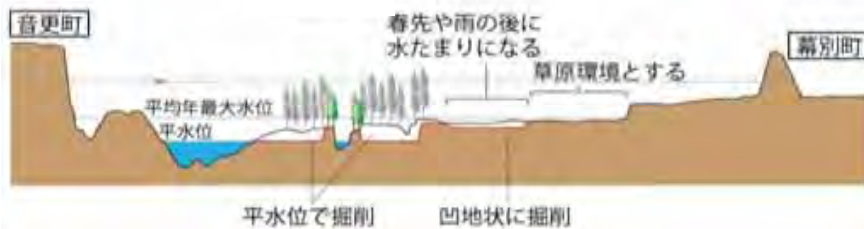


# -メン川合流点下流-



草原及び湿地環境とする

## A - A断面



## 合意事項

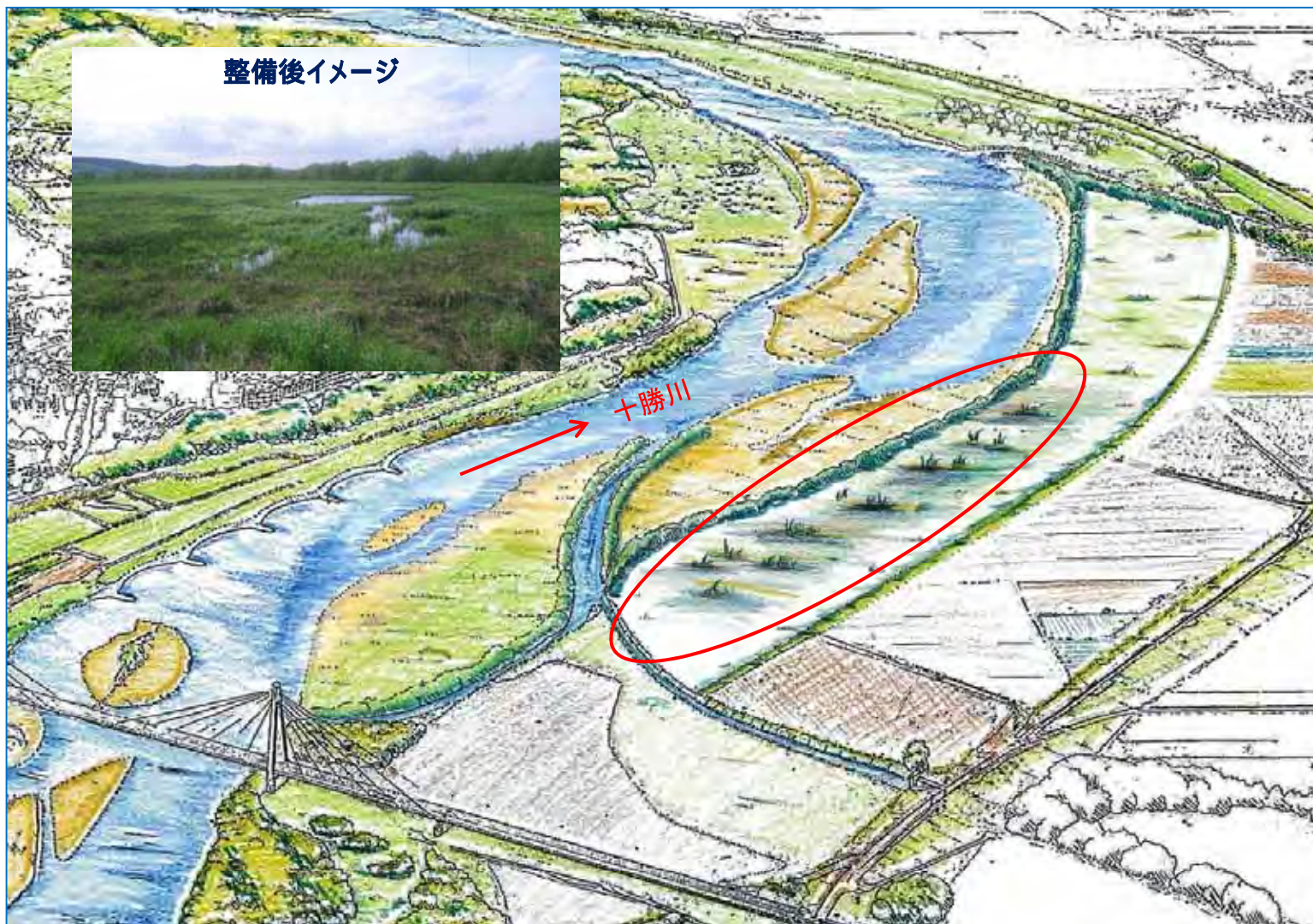
- ・メン川と十勝川の合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し、平水位で掘削するとともに、メン川沿いの樹木は保全する。
- ・平均年最大水位程度で右岸高水敷を掘削するとともに、再樹林化を防止するため、地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる
- ・施工中の十勝川温泉側からの景観を考慮し、中洲の樹林の一部を10m程度の幅で残しながら施工する。

## 検討の経緯

WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<事務局案提示> ・樹林を伐採後掘削し、浅場環境を形成 ・右岸高水敷は、平均年最大水位程度で掘削 <グループ討議意見> ・川側の樹林を保全し、その背後の高水敷を掘削
第6回 (H23.3.4)	<事務局提案> ・右岸樹林をすべて保全することは困難 ・関係機関との調整も必要であり再検討する <全体討議意見> ・観光関係者等からも意見聴取
第7回 (H23.7.9)	現地視察後、意見収集
第8回 (H23.10.23)	<事務局修正案提示> →合意 ・メン川合流部は、サケ稚魚の速やかな降下を考慮し平水位で掘削、メン川沿いの樹林を保全 <全体討議意見> ・右岸高水敷に湿地ができないか
第9回 (H23.12.16)	<追加案> →合意 ・メン川合流点下流の高水敷を湿地化する案を検討。ただし、地域との調整が必要 <グループ討議意見> ・地域との調整を図った上で、凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる

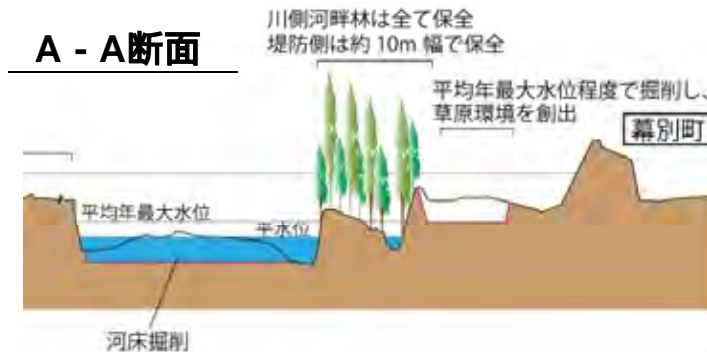
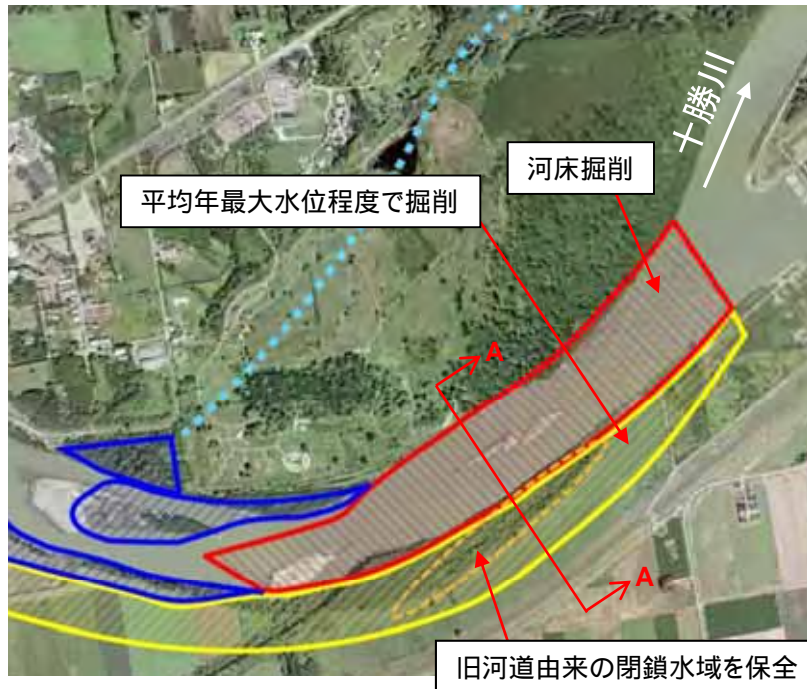


- 十勝中央大橋下流(メン川合流点下流)イメージ図  
凹凸を付けて多様な湿地を含む環境をつくる -





# -途別川合流点下流-



## 検討の経緯

WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<事務局案提示> ・河床部の掘削及び右岸高水敷を平均年最大水位程度で掘削 <グループ討議意見> ・川側の樹林を保全し、その背後の高水敷を掘削
第6回 (H23.3.4)	<事務局提案> ・右岸樹林をすべて保全することは困難 ・関係機関との調整も必要であり再検討する
第7回 (H23.7.9)	現地視察後、意見収集
第8回 (H23.10.23)	<事務局代替案提示> ・途別川合流点下流の既存の湿地を保全、又は拡幅する2つの案を提示 <グループ討議意見> ・現況の湿地を保全 ・現況水域が残っている理由を確認
第9回 (H23.12.16)	<事務局修正案提示> →合意 ・現況の水域が極力残されるよう、水域の川側の樹林、堤防側は幅10mの樹林を保全し、その背後の高水敷を掘削し草原環境とする

## 合意事項

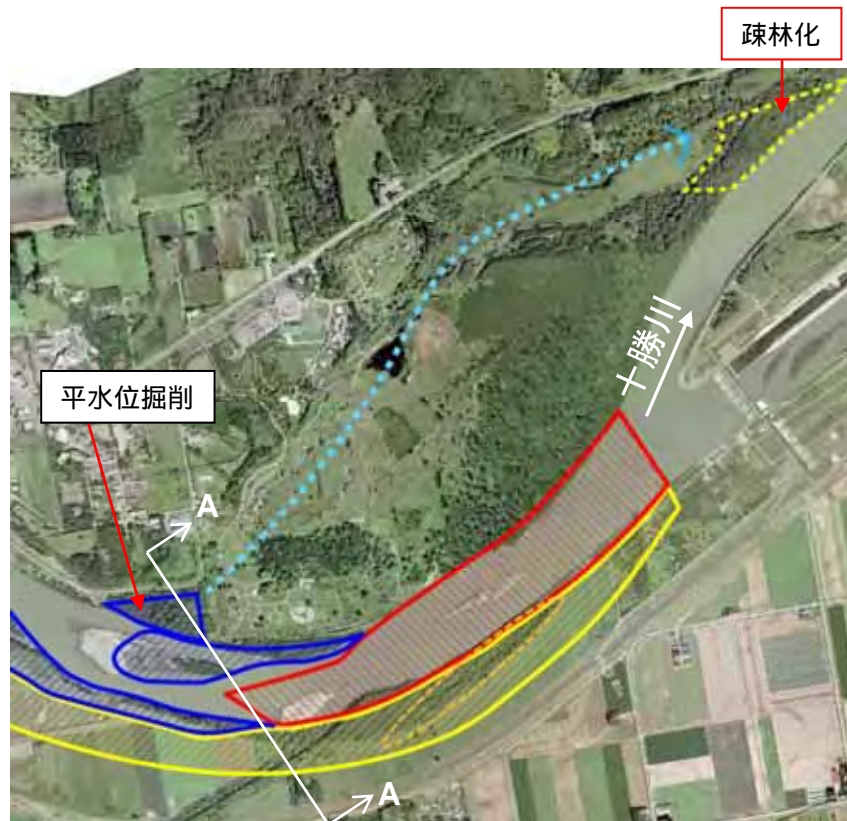
- ・河床部を掘削する。
- ・右岸側の高水敷については、現況の水域が極力残されるよう、水域周辺の樹木の内、川側を全て保全、堤防側を幅10mで保全し、その他の部分を平均年最大水位程度で掘削し、草原環境を創出する。



- 十勝中央大橋下流(途別川合流点下流の右岸高水敷)イメージ図  
現況水域に隣接した樹林を保全し、その他は掘削して草原環境に -

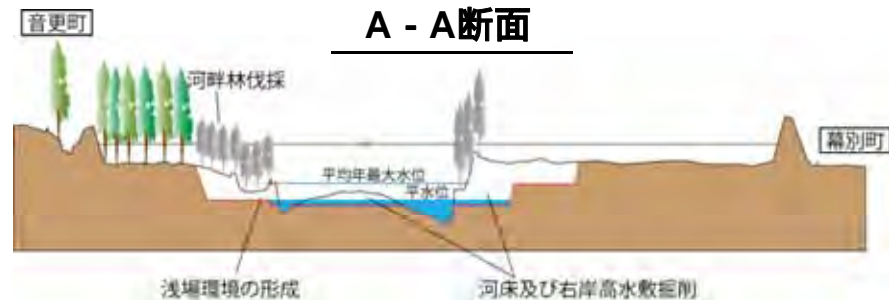


# -十勝川温泉より下流-



## 検討の経緯

WS (day)	内容
第5回 (H23.2.4)	<p>&lt;事務局案提示&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成</li> <li>・十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する</li> <li>・試行地を提案し、一部を伐採掘削し、その後の環境の変化をモニタリングする</li> </ul>
第6回 (H23.3.4)	<p>&lt;事務局案(第5回提示案)&gt; → <b>合意</b></p> <p>十勝エコロジーパークや北海道との調整が必要</p>
第8回 (H23.10.23)	<p>試行地を現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出水後も浅場環境が残されていることを確認</li> </ul>



## 合意事項

- ・樹林を伐採後、掘削して浅場環境を形成する。
  - ・十勝エコロジーパーク下流の樹林の一部を疎林化する。
- (具体的な実施方法については、今後、十勝エコロジーパークや北海道と調整)



- 十勝川温泉より下流(左岸)イメージ図  
樹林を伐採後掘削し、浅場環境を創出 -

